

# 第 140 回 地区内中小企業 景気動向調査結果

(2023年 10月 ~ 12月実績)

(2024年 1月 ~ 3月予想)

\*\*\*\*\* 目 次 \*\*\*\*\*

地区内データベース	.....	1
全国 ・ 全道の概況	.....	4
調査の概要	.....	5
全業種総合	.....	6
製造業	.....	9
建設業	.....	11
卸売業	.....	13
小売業	.....	15
サービス業	.....	17
特別調査	.....	19

# 地区内データベース

## 1. 人口・世帯数動向（令和5年12月末）

町 村 名	人 口			世 帯 数		
	人 数	前年同月比	3月末比	世 帯 数	前年同月比	3月末比
平 取 町	4,537	-56	-16	2,411	1	12
日 高 町	11,107	207	415	6,255	318	407
新 冠 町	5,136	-50	-53	2,804	28	-3
新ひだか町	20,588	-444	-103	11,344	-87	34
浦 河 町	11,453	-241	-111	6,640	-48	-14
様 似 町	3,901	-82	-48	2,080	-8	-1
え り も 町	4,178	-143	-48	2,020	-63	-11
広 尾 町	6,008	-220	-64	3,161	-69	-15
大 樹 町	5,336	-101	-66	2,805	11	-6
日高・十勝地区合計	72,244	-1,130	-94	39,520	83	403
札 幌 市	1,956,928	-2,584	-363	1,104,953	8,224	5,584
江 別 市	118,686	-483	-96	59,678	289	442
石 狩 市	57,645	-309	-151	28,623	163	144
北 広 島 市	56,917	-435	-249	28,298	100	99
恵 庭 市	70,354	175	285	35,501	620	494
千 歳 市	97,962	323	997	52,218	806	928
石狩地区合計	2,358,492	-3,313	423	1,309,271	10,202	7,691
苫 小 牧 市	166,846	-1,453	-657	91,032	165	186
厚 真 町	4,306	-75	-49	2,118	-11	-7
む か わ 町	7,323	-165	-86	3,994	-30	-26
胆振地区合計	178,475	-1,693	-792	97,144	124	153
営業区域合計	2,609,211	-6,136	-463	1,445,935	10,409	8,247

\*日高町の人口に外国人登録者数は含まれていません

(資料出所：各市町)

## 2. 企業倒産状況（令和5年10月～令和5年12月）

単位：件・百万円	件 数	負 債 金 額	前年同期比件数	前年同期比金額
苫小牧管内	8	786	8	731
(内・新冠町～えりも町)	2	102	2	102
北 海 道	81	8,809	31	909
全 国	2,410	506,109	627	224,353

(資料出所：東京商工リサーチ)

### 3. 労働需給状況

#### 令和5年10月

	浦河 (人・倍)	全道 (人・倍)	前年同月比(%・ポイント)		前月比(%・ポイント)	
			浦河	全道	浦河	全道
月間有効求人数	892	85,927	-13.48	-9.40	-5.81	0.84
月間有効求職者数	642	84,332	5.59	2.78	3.05	-0.04
月間有効求人倍率	1.39	1.02	-0.31	-0.14	-0.13	0.01

#### 令和5年11月

月間有効求人数	892	85,388	-20.71	-9.94	0.00	-0.63
月間有効求職者数	635	82,388	7.81	3.51	-1.09	-2.31
月間有効求人倍率	1.40	1.04	-0.51	-0.15	0.01	0.02

#### 令和5年12月

月間有効求人数	917	82,309	-171	-7,485	25	-3,079
月間有効求職者数	617	79,039	43	2,539	-18	-3,349
月間有効求人倍率	1.49	1.04	-0.41	-0.13	0.09	0.00

(資料出所：厚生労働省 北海道労働局)

### 4. 町発注工事

#### 令和5年10月

単位：件・百万円

	10月		累計		前年同月		前年同月累計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
新ひだか町 ～ 広尾町	25	291	285	8,014	21	170	263	5,009

#### 令和5年11月

	11月		累計		前年同月		前年同月累計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
新ひだか町 ～ 広尾町	15	226	300	8,240	21	224	284	5,233

#### 令和5年12月

	12月		累計		前年同月		前年同月累計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
新ひだか町 ～ 広尾町	1	43	301	8,283	3	25	287	5,258

(資料出所：各町)

## 5. 建築確認申請

単位：件数

		件数	前年同期比	前四半期比
当金庫管内	5/10~5/12月迄の累計	6	-5	-5
(新ひだか町~広尾町)	5/4~5/12月迄の累計	42	-24	

(資料出所：各町)

## 4. 浦河町・新ひだか町静内 金融機関預金・貸出金残高（令和5年12月末現在）

単位：百万円・%

預 金			貸 出 金		
残 高	前年同月比	前 月 比	貸 出 金	前年同月比	前 月 比
181,868	2.69	1.13	60,927	0.67	3.68

(資料出所：浦河・静内金融協会)

## 6. 気象情報

令和5年10月中

	本 年			平年偏差・平年比		
	気 温 (°C)	降水量(mm)	日照時間	気 温 (°C)	降水量(%)	日照時間 (%)
浦 河	12.9	157.0	192.8	0.6	133.4	112.0
広 尾	12.5	182.0	181.0	1.2	93.7	110.0

令和5年11月中

浦 河	7.5	102.5	111.9	1.4	122.9	91.9
広 尾	7.8	122.5	147.6	2.6	95.9	98.9

令和5年12月中

浦 河	0.1	15.5	117.9	0.0	26.3	104.2
広 尾	-1.0	35.0	169.3	0.3	38.3	113.3

(資料出所：国土交通省 気象庁)

## 全 国 ・ 全 道 の 概 況

信金中央金庫がまとめた全国信用金庫の窓口から見た中小企業の景況によると、2023年10～12月期（今期）の業況判断D. I. は△3.3、前期比3.7ポイント改善し、およそ4年半ぶりの水準まで回復した。収益面では、前年同期比売上額判断D. I. がプラス9.5と前期比1.6ポイント低下、同収益判断D. I. は△2.7と同0.2ポイント低下した。販売価格判断D. I. はプラス27.1と2四半期続けて低下した。人手過不足判断D. I. は△27.4と3四半期続けて人手不足感が強まった。設備投資実施企業割合は21.9%と前期比0.2ポイント上昇した。業種別の業況判断D. I. は全6業種で、地域別には全11地域中、北海道と九州北部を除く9地域で、それぞれ改善した。2024年1～3月期（来期）の予想業況判断D. I. は△8.0、今期実績比4.7ポイントの低下を見込んでいる。業種別には全6業種で、また、地域別には全11地域中、中国と九州北部を除く9地域で、それぞれ低下の見通しとなっている。

日本銀行札幌支店が12月13日発表した北海道金融経済概況によると、北海道の景気は、持ち直している。すなわち、公共投資は、増加している。個人消費は、物価上昇の影響を受けつつも、着実に増加している。観光は、回復している。設備投資は、緩やかに持ち直している。輸出は、弱めの動きがみられる。住宅投資は、減少している。生産は、横ばい圏内ながら、一部に弱めの動きがみられる。雇用・所得情勢をみると、緩やかに改善している。

### 需要項目別動向

- 公共投資・・・増加している。公共工事請負金額は、前年を上回った。
- 輸出・・・弱めの動きがみられる。食料品は、減少している。
- 設備投資・・・緩やかに持ち直している。12月短観（北海道地区）における2023年度の設備投資は、前年を上回る計画となっている。
- 個人消費・・・物価上昇の影響を受けつつも、着実に増加している。百貨店は、持ち直している。スーパーは、物価上昇の影響を受けつつも、緩やかに増加している。コンビニエンスストアは、増加している。ドラッグストアは、増加している。家電販売は、緩やかに持ち直している。乗用車販売は、持ち直している。サービス消費は、回復している。
- 観光・・・回復している。
- 住宅投資・・・減少している。新設住宅着工戸数をみると、持家、分譲は、減少している。貸家は、低水準で推移している。
- 生産（鉱工業生産）・・・横ばい圏内ながら、一部に弱めの動きがみられる。主要業種別にみると、食料品は、横ばい圏内の動きとなっている。電気機械は、緩やかに持ち直している。輸送機械は、持ち直しの動きが一服している。紙・パルプは、低水準で推移している。
- 雇用・所得情勢・・・緩やかに改善している。
- 物価・・・消費者物価（除く生鮮食品）は、前年を上回って推移している。なお、前年比伸び率は前月比拡大した。
- 企業倒産・・・引き続き低水準で推移しているものの、このところやや増加している。